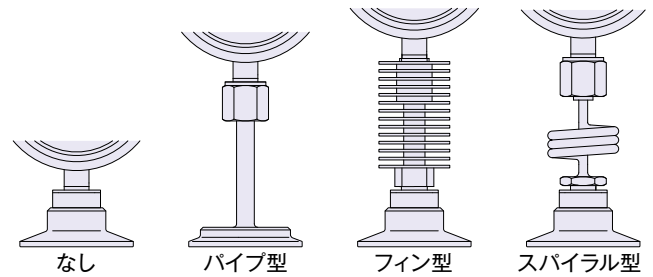


■各種放熱管別 常用使用最高温度表

- (1) 下記表を参考に最高温度以下でご使用ください。
- (2) 本データは計器の周囲温度は20℃±5℃とします。
- (3) 使用最低温度はお問い合わせください。
- (4) 受圧部ダイヤフラム面に接触する温度とします。
- (5) SIP 滅菌にご使用する計器は、下記温度表内の圧力範囲、膜径サイズ、放熱管の有無の条件の中からお選びください。
- (6) 接点付型で60℃以上になる場合は放熱管をご使用ください。



■指示計・コンタクト接点式・光電スイッチ式

●1Sサイズ 膜径 23φ 放熱管無しは蒸気滅菌不可

圧力範囲 MPa	なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
0~0.1	-	-	-
0.2	-	-	-
0.3	-	-	-
0.4	30℃	40℃	60℃
0.5	30℃	40℃	60℃
0.6	40℃	50℃	70℃
1	60℃	70℃	80℃
1.5	60℃	70℃	80℃
2	60℃	80℃	100℃

圧力範囲 MPa	なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
-0.1~0.1	-	-	-
-0.1~0.2	-	-	-
-0.1~0.3	-	-	-
-0.1~0.4	30℃	40℃	50℃
-0.1~0.5	30℃	50℃	60℃
-0.1~1	40℃	50℃	70℃
-0.1~0	-	-	-

●1.5Sサイズ 膜径 36φ

なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
40℃	50℃	70℃
50℃	70℃	80℃
60℃	80℃	90℃
70℃	90℃	120℃
80℃	100℃	120℃
80℃	100℃	120℃
100℃	120℃	140℃
120℃	120℃	160℃
120℃	120℃	160℃

なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
30℃	40℃	50℃
40℃	50℃	60℃
50℃	60℃	80℃
60℃	80℃	100℃
60℃	80℃	100℃
80℃	100℃	120℃
30℃	40℃	50℃

●2Sサイズ 膜径 45φ

なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
45℃	60℃	80℃
60℃	100℃	120℃
80℃	120℃	120℃
100℃	120℃	140℃
120℃	140℃	140℃
120℃	140℃	160℃
120℃	140℃	160℃
120℃	140℃	160℃
120℃	140℃	160℃

なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
40℃	50℃	70℃
40℃	50℃	80℃
50℃	70℃	100℃
70℃	90℃	120℃
70℃	90℃	120℃
80℃	120℃	140℃
40℃	50℃	70℃

■マイクロスイッチ式

1EM=上限1接点
下限1接点
2EM=上・下2接点
上・上2接点
下・下2接点

(注1)1Sサイズは製作
できません

圧力範囲 MPa	接点数
0~0.3	1EM
	2EM
0~0.4	1EM
	2EM
0~0.5	1EM
0~0.6	2EM
	1EM
0~1	2EM
	1EM
-0.1~0	1EM
-0.1~0.2	2EM

なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
35℃	40℃	90℃
-	-	-
40℃	50℃	100℃
-	-	-
50℃	75℃	125℃
-	-	-
65℃	95℃	125℃
-	-	-
30℃	30℃	40℃
-	-	-

なし	バイブ型 フィン型	スパイラル型
50℃	70℃	100℃
45℃	60℃	80℃
60℃	80℃	100℃
50℃	70℃	90℃
70℃	90℃	120℃
60℃	80℃	100℃
80℃	100℃	120℃
70℃	90℃	120℃
40℃	50℃	60℃
30℃	40℃	50℃

上記データは性能向上の為、予告なく変更する場合があります。

■1Sヘルール付サニタリー圧力計の高温測定の際のご注意点

- 上記1Sサイズ表中に記載してありますように、低圧レンジ製品は高温流体の測定はできません。記載してあります温度以上になりますと、指示精度が許容範囲を大きく越えてしまうと同時に、内部封入液の膨張により膜面の変形と、再現性が無くなる恐れがあります。
- 1Sヘルールは常温使用でも圧力レンジは0.4MPa以上の製作になります。
- SIP滅菌工程の必要な装置には圧力レンジは最高圧力0.5MPa以上の計器で、スパイラル型放熱管組込型をご使用ください。
- SIP滅菌時の圧力指示精度要求の有無もご相談ください。